



昌陸法眼

江

愚問之條々

成政

伊地知文庫
文庫20
234



昌陸法眼江愚問之條成政

吊隆法眼と愚問之系と

成政



一 關了足柄付の復きふいゆふり就極り之迄
廣清見おのつち極もきふいゆふり就極り之迄
富山とふてい名宗極みゆふり就極り之迄
内子極りゆふり就極り之迄
ふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふ

國右と若菜といひし七と外と富山と十と内と若菜と

思ひけしとふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふ

一 神度又々自見見の折れ折れと方より海への
志つてふゆふゆふ折れ折れの方より折れと

るそよらるる乃後復とんわうしくは神等
流事も同亭るる乃後復とんわうしくは神等
一 秋の割の初、西海運うらまきしひり長徳角
始うと初もるるは

唐三
方巻

一 月の梅を在る風と云ふ

本乃本と流の記るる乃後復とんわうしくは神等
是を何新と云ふと初もるるは
若くは流も唐の石と云ふは
是を何新と云ふと初もるるは

佐州方、移るる乃後復とんわうしくは神等
之りるる乃後復とんわうしくは神等

竟田山、折るる乃後復とんわうしくは神等
是も亦れりるる乃後復とんわうしくは神等
常、身年、我、霜、づ、白、干、り、別、我、り、也、物、有、り、
て、は、何、新、と、云、ふ、と、初、も、る、る、は

一 軒と云ふ、乃後復とんわうしくは神等
見、前、卷、何、名、也

唐三
年、卷、何、名、也

一 殊、り、理、多、と、云、ふ、乃、後、復、と、ん、わ、う、し、く、は、神、等

唐云
石名

一 喜方上人の石なり。後之に 石を以て掘りて海
夏らるるなり也

唐云、
石に事ありし

一 松の産りし。唐云、
松の産りし。唐云、
亦松の本れわらうなり。唐云、
りみらしと片先有るなり。唐云、
松の産りし。唐云、

唐云、
松のわらうれ菴に紅紫席有るなり。唐云、

一 園と有る折石を唐の園と云ふなり。唐云、

一 只一つと云ふなり。唐云、
唐の園と云ふなり。唐云、
勅云、
唐の園と云ふなり。唐云、
唐の園と云ふなり。唐云、

一 石名松。唐云、
石名松。唐云、

石名松。唐云、
石名松。唐云、
石名松。唐云、
石名松。唐云、

渡云

恒身解 西云 何れも先づし向ふ

一 作保作 竟同作 若葉の作保 音同作

作保作 竟同作 若葉の作保 音同作

一 六の二式をさうなれば 親の如く 秋の如く

秋葉 秋の如く 秋の如く

一 花のまじりもさうなれば 秋の如く 秋の如く

よしや 心もさうなれば 秋の如く

一 秋の葉とさうなれば 秋の如く 秋の如く

一 葉と 秋の如く 秋の如く

葉のまじりもさうなれば 秋の如く 秋の如く

是秋の如く

一曲水の音もさうなれば 秋の如く 秋の如く

音のまじりもさうなれば 秋の如く 秋の如く

音のまじりもさうなれば 秋の如く 秋の如く

一 物言子乃のも考ふの字、折成備と云ふかき
或るは

一 連類と云ふ事、此の説成、本様可也、
可也、
難敵、
永集、
或るは、
信

一 かまの烟、
宗、
行、
後、
ある、
物、
廿、
十、
其、

世々其後約のし

新物撰社と

兼

書物... 新物撰社と

續千載社下

法華堂

焼すまゝ烟や新物撰の田んぼを屋上より見て見ゆ

堀川南書と題紙

年事也

中より新物撰... けり... 奥紙... 其... 傍紙...

下ノ内より新物撰の... 新物撰の... 新物撰の...

打... 新物撰... 新物撰... 新物撰...

新物撰... 新物撰... 新物撰...

此の... 新物撰...

一... 水乃... 新物撰... 新物撰...

月一戸名に**藤**集と云ふ事及**十**集と云ふ事
取中と云ふ印多ゆひ月一戸と云ふ事
細わきと云ふ事
くさくさ不**来**集と云ふ事
玉章と云ふ事
玉章と云ふ事
玉章と云ふ事
玉章と云ふ事

一連歌同字の度耳の字の初云の所
併併集と云ふ事

一 **藤**集と云ふ事

と云ふ事

と云ふ事

と云ふ事

延宝三年川崎屋宗春因行
追風の船は去りて去りて

石巻の舟
萬葉集卷十九

甲種

ハラミツマニトクニ水の上^{ツ子}地^{ツ子}ヲゴトクフ子ノ兵^{ツ子}座ニ
ニスト大神ノシテ凡國ノ四ノ舟ヲナリヘナエテ子ヲ多
バ^{ツ子}後^{ツ子}年^{ツ子}ナリカ^{ツ子}リ^{ツ子}ニト申サ^{ツ子}日^{ツ子}ニ相^{ツ子}ニ^{ツ子}酒^{ツ子}ノ^{ツ子}此^{ツ子}ト^{ツ子}ヨ^{ツ子}ミ^{ツ子}キ^{ツ子}

都^{ツ子}名^{ツ子}

1871

Wm. B. ...

Wm. B. ...

Wm. B. ...

Wm. B. ...

Wm. B. ...

Wm. B. ...

Wm. B. ...

Wm. B. ...

Wm. B. ...

